

三月・四月の行事	郷土文化歴史プロジェクト ～豊原から山添を歩く～ 3月13日(木) 13:00～
	春のじゃがいも種植え 3月15日(土) 13:00～
	清水JA倉庫集合 掬水まちづくり協議会第9回総会 4月13日(日) 13:30～
	掬水小学校体育館

分科会始動!

将来計画を作成する分科会がスタートしました。
各委員は次の通りです。(敬称略)

*美しいまちづくり分科会

- 控井 昇(豊原)
- 間瀬 善樹(豊原)
- 脇田 博之(安楽)
- 浅井 廣喜(櫛田)
- 佐伯 正克(櫛田)
- 堀口 理絵子(松阪市)

*交流と文化の

- 山地 ひかり(松阪市)
- 糸川 千久佐(松阪市)
- 村居 俊子(山添)
- 松井 淳(櫛田)
- 高木 幸子(小学校)
- 宮崎 浩成(山下)
- 宮崎 達男(豊原)
- 真野 成英(豊原)
- 小路 裕弘(松阪市)

*安全 安心な

- まちづくり分科会
- 鈴木 則男(櫛田)
- 木村 重夫(豊原)
- 池田 正司(豊原)
- 高田 勇孝(みどり苑)
- 西口のり子(櫛田)
- 三宅 義則(松阪市)



平成26年2月20日
掬水まちづくり協議会
92号



*元気に暮らせる

- まちづくり分科会
- 北岡 幸代(清水)
- 池田 稔(豊原)
- 蘭部 勉(豊原)
- 早川 美恵子(櫛田)
- 西口 裕(櫛田)

地元の歴史を感じながら一緒に歩いてみませんか?

「豊原から山添を歩く」
郷土文化歴史プロジェクトでは皆様の参加をお待ちしています。
日時：3月13日(木) 櫛田地区市民センターに午後12時45分集合
コース：豊原団地→伊勢電跡→豊原神社→安楽寺→
服部本家→神山神社(解散)
参加料：無料
参加申込み：資料の配布準備のため事前に事務局(☎28-2675)

☆参加者募集!! ☆
春ジャガイモの種の植え付けに参加する人を募集します。
3月15日(土)午後1時、
清水JA倉庫に
集合して下さい。
持ち物は
軍手、タオル、お茶、
帽子、シャベルです。
尚、収穫祭と両方参加すると、
お楽しみが付いています!



ふれあいウォーキング
一月二十六日、約百五十名の参加者で安楽天神く総合運動公園周辺の約四・五キロの道程を歩きました。
まず、健康推進課の山路さんと社会福祉協議会の城山さん指導の下、準備運動で身体をほぐし、自然を満喫できるコースを思い思いに楽しみました。途中、あいにくの雨に降られました。ゴールの安楽天神では、豊原町自治会の皆さんによる温かい豚汁とお茶、そしてお手製の漬物等が準備されており、又安楽自治会の方々が焚き火で暖をとって下さっていたので、参加者は美味しく頂きながら冷えた身体を温める事が出来ました。最後にクジ引きもあり、和やかに終了しました。



四国八十八ヶ所霊場 歩き遍路物語(三十三)

豊原町 岩塚 章

人生って何がおきるか
これが人生か

四国八十八ヶ所各お寺を一気に遍路するのが一気打ち、阿波の国・土佐・伊予・讃岐、この四県をそれぞれお参りするのが一国参りなどいろいろなお参りの方法がある。四国全国を一気に・・・この一念で来たのに残念。讃岐に入る手前で一時リタイヤ。「一寸先は闇」という諺があるように、夢を断念。四月二十七日故郷に帰って用を済して五月十七日JR伊予三島駅へ。高尾旅館に泊り十八日六十五番三角寺をめざす。標高ゼロメートルに近いこの旅館から六キロ先のお寺。そして標高差四十八メートルほとんど四十度に近い曲りくねった山道を右へ曲りそして左へ。朝七時過ぎに出発したのに寺をお参り出来たのが十一時。厳しい厳しい山遍路であった。昨日まで松阪で二十日間ほとんど歩かない生活。足が普通の生活に戻っていたことを忘れ突然の酷使。今迄ここまで歩き通して来た九六〇キロ、その延長の足であるような錯覚。人

間の体って、足って・・・衰えの早いことをまざまざと知らされた。今夜の民宿岡田まで、あと一四キロ歩き通すことが出来るだろうか。心新たに下り山道を一時間少し歩いただろうか、谷川のほとりで昼食をと座りこんで、旅館でお接待ですと頂いて来た弁当。今迄「お接待です」と頂いて来た弁当はにぎりめしにたくあんか梅干。それが開けてびっくり。コンビニの五〇〇円弁当以上、谷川のせせらぎも打ち消される程の『ヒヤ』と大声を出した。豪華・おいしい、こんな昼食をお接待で頂いたのは初めてであった。

民宿まで国道一九二号線に出て又々上り坂に悩まされつつもすばらしい弁当を頂いたのか、人間って心からの安らぎを頂くとその一日が癒されるのでしようか。上り坂黒煙を出して上って行く車を横目に心なしか疲れも軽く標高三九〇メートルの境目トンネル五〇〇メートルを歩き通し、民宿岡田に夕方五時過ぎ着、四国四十泊目の夕食を頂き早々と床に着いた。



つづく

伊勢街道を歩いてみた⑦

【豊養稲荷大明神】

豊原交差点から櫛田川の土手に向かって歩いていくと、左前方に赤い旗と赤い鳥居が見えてくる。櫛田では唯一の稲荷神社の豊養稲荷社だ。

鳥居の横には「式内大櫛神社」と「櫛田大市」の石碑が在る。

大櫛神社は大彦命を祭神としていたが、明治三九(一九〇六)年に出された神社合祀令により、明治四一(一九〇八)年に山添町の神山神社に合祀された。その後、昭和二九年に現在の豊原神社が建てられた後、平成六年に神山神社から分祀され豊原神社にまつられている。

これについても藤木篤さんが協議会たよりNo.37号に詳しく記載されているので活用させて頂いた。

ところで、豊養稲荷社がいつごろ建てられたのだろうか。手元の資料を見たが分からない。大櫛神社に併設されて建てられていたのか、大櫛神社が合祀された後に建てられたのか。推測するに、大櫛神社に併設されていたのであれば、合祀令により神山神社に合祀されたことになる。それであるならば現在の稲荷社は、昭和二九年ごろに建てられ

たのではないかと考えられる。

一方、当時の豊原商工会の人たちは講を作って、愛知県豊川稲荷に詣でていたという。つまり、稲荷社は、豊原にはまだ無かったと考えられる。合祀により身近に神社が無くなった。商売人にとって、抛り所を無くしたようなものである。そのことから稲荷社を建てることは当然の成り行きだったと考えられ、大櫛神社が合祀されたから、その敷地の一部に豊養稲荷社を立てたと考えられる。しかし、合祀令の出ているなかでどのようなように立てることができたのか疑問に残る。

いずれにしても、資料があれば解決するのだが・・・。櫛田大市の石碑は、この通りで市が開かれていたことを示すもので、石碑には櫛田大市明治三二年二月五日創立陰暦十二月二十五日とあり、初めて市を開いた日を記している。

大市については、二月正月に合わせて陰暦の十二月二五日に開催され大いに賑わっていたようである。



ホームページを見て下さい

掃水まちづくり協議会ではインターネットのホームページを開設しています。

URLは <http://teisui.web.fc2.com/index.html> です。

から入れます。

また「たより」の題字下部のQRコードも利用できます。これからの予定や実施した行事の写真など情報が満載です。

「掃水地区の日」は

3月19日(水)

当日のみ有効

この案内と1,000円以上お買上げの方に

20ポイントプレゼント

Aコープくしだ

営業時間 10時～21時(日曜日のみ9時オープン)

夜間レジパート、アルバイト募集

デイリー、畜産部門パート募集中